

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公表番号】特表2010-501191(P2010-501191A)

【公表日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2009-525967(P2009-525967)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/525 (2006.01)

C 0 7 K 14/005 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 0 1 K 67/027 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 14/525

C 0 7 K 14/005

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 B

A 0 1 K 67/027

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 35/74 A

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 25/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【手続補正１】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

(i) T N F - スーパーファミリーサイトカイン又はそれらの受容体結合ドメイン、
(i i) 構成成分 (i) と (i i i) との間の可撓性リンカー要素、及び
(i i i) フィブリチン三量体化ドメイン
を含有する融合タンパク質。

【請求項２】

構成成分 (i) が、C D 9 5 L、T R A I L、T N F、またはそれらの受容体結合ドメインから選択される、請求項１に記載の融合タンパク質。

【請求項３】

構成成分 (i) が、

(a) C D 9 5 L もしくはそれらの受容体結合ドメイン、又は

(b) T R A I L もしくはそれらの受容体結合ドメイン

である、請求項２に記載の融合タンパク質。

【請求項４】

構成成分 (i) が、ヒト C D 9 5 L (配列番号 3 0) の 1 4 2 ~ 2 8 1 もしくは 1 4 4 ~ 2 8 1 のアミノ酸、又はヒト T R A I L (配列番号 3 4) の 1 1 6 ~ 2 8 1、1 1 8 ~ 2 8 1 もしくは 1 2 0 ~ 2 8 1 のアミノ酸を含有する、請求項３に記載の融合タンパク質。

【請求項５】

構成成分 (i i) が、5 ~ 2 0 のアミノ酸の長さ、特に 6、9、1 2、1 5 又は 1 8 のアミノ酸の長さを有する、請求項１から 4 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質。

【請求項６】

構成成分 (i i) が、グリシン / セリンリンカーであり、有利には構成成分 (i i) が、アミノ酸配列 (G S S)_a (S S G)_b (G S)_c (S)_d を有し、その際 a、b、c、d が、それぞれ 0、1、2、3、4、又は 5 である、請求項 5 に記載の融合タンパク質。

【請求項７】

構成成分 (i i i) が、バクテリオファージフィブリチン三量体化ドメインである、請求項１から 6 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質。

【請求項８】

構成成分 (i i i) が、

(a) バクテリオファージ T 4 フィブリチン三量体化ドメイン、又は

(b) バクテリオファージ R B 6 9 フィブリチン三量体化ドメイン

である、請求項 7 に記載の融合タンパク質。

【請求項９】

請求項 8 (a) の構成成分 (i i i) が、アミノ酸配列 (G) Y I P E A P R D G Q A Y V R K D G E W V L L S T F L (配列番号 2 3 の 4 5 8 ~ 4 8 4 又は 4 5 9 ~ 4 8 4 のアミノ酸)、もしくはそれに対して少なくとも 7 0 % の同一性を有する配列を含有し、又は請求項 8 (b) の構成成分 (i i i) が、アミノ酸配列 G) Y I E D A P S D G K F Y V R K D G A W V E L P T A (配列番号 2 4 の 4 5 5 ~ 4 8 0 又は 4 5 6 ~ 4 8 0 のアミノ酸)、もしくはそれに対して少なくとも 7 0 % の同一性を有する配列を含有する、請求項 8 に記載の融合タンパク質。

【請求項１０】

構成成分 (i) が、構成成分 (i i i) の N - 末端に位置し、又は構成成分 (i i i) が、構成成分 (i) の N - 末端に位置する、請求項１から 9 までのいずれか 1 項に記載の

融合タンパク質。

【請求項 1 1】

プロテアーゼ開裂部位を含有してよい、N - 末端シグナルペプチドドメインを付加的に含有し、かつ / 又は認識 / 精製ドメインを有する及び / もしくは該認識 / 精製ドメインに連結してよい、C - 末端可撓性成分を付加的に含有する、請求項 1 から 1 0 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質。

【請求項 1 2】

三量体複合体として又は三量体複合体のオリゴマーとして存在し、有利には該複合体が、3 個の同一の融合タンパク質からなる、請求項 1 から 1 1 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質。

【請求項 1 3】

請求項 1 から 1 1 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質をコードし、有利には配列番号 2、配列番号 2 1、又は配列番号 2 2 の配列を含む核酸分子。

【請求項 1 4】

発現調節配列と作動的に連結する、請求項 1 3 に記載の核酸タンパク質。

【請求項 1 5】

ベクター上に位置する、請求項 1 3 又は 1 4 に記載の核酸タンパク質。

【請求項 1 6】

請求項 1 3 から 1 5 までのいずれか 1 項に記載の核酸分子で形質転換又は形質移入された細胞。

【請求項 1 7】

原核細胞、又は真核細胞、有利には、哺乳動物細胞、及びより有利にはヒト細胞である、請求項 1 6 に記載の細胞。

【請求項 1 8】

請求項 1 3 から 1 5 までのいずれか 1 項に記載の核酸分子で形質転換又は形質移入された非ヒト生物。

【請求項 1 9】

活性剤として、請求項 1 から 1 2 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質、もしくは請求項 1 3 から 1 5 までのいずれか 1 項に記載の核酸分子、又は請求項 1 6 もしくは 1 7 に記載の細胞を含有する、医薬組成物。

【請求項 2 0】

活性剤として、請求項 1 から 1 2 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質、もしくは請求項 1 3 から 1 5 までのいずれか 1 項に記載の核酸分子、又は請求項 1 6 もしくは 1 7 に記載の細胞を含有する、診断組成物。

【請求項 2 1】

療法における使用のための、請求項 1 から 1 2 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質、請求項 1 3 から 1 5 までのいずれか 1 項に記載の核酸分子、又は請求項 1 6 もしくは 1 7 に記載の細胞。

【請求項 2 2】

TNF サイトカインの機能不全によって生じる、TNF サイトカインの機能不全に関連する、及び / 又は TNF サイトカインの機能不全に附随する疾患、特に腫瘍のような増殖性疾患、例えば充実性腫瘍又はリンパ腺腫瘍；感染症；炎症性疾患；代謝疾患；自己免疫異常、例えばリウマチ及び / 又は関節疾患；変性疾患、例えば多発性硬化症のような神経組織変性疾患；アポトーシス関連性疾患、又は移植拒絶反応の予防及び / 又は治療における医薬組成物の製造のための、請求項 1 から 1 2 までのいずれか 1 項に記載の融合タンパク質、もしくは請求項 1 3 から 1 5 までのいずれか 1 項に記載の核酸分子、又は請求項 1 6 もしくは 1 7 に記載の細胞の使用。